

## 「とうもろこし50」「秋田こまち17」「宮城ひとめ18」取引開始のご挨拶

大阪堂島商品取引所では、農産物市場の充実を目指すなかにありまして、従来のとうもろこしを「とうもろこし50」としてリニューアルし、本日より取引を開始いたしました。

取引・受渡単位をともに50トンとしたうえで、アメリカ産のみならずブラジル産も供用可能とさせていただきました。ワールドコーン市場として、広くご活用いただけることを期待しております。

また、4月21日(火)からは、本上場に向けて、「秋田こまち17」と「宮城ひとめ18」も米穀のラインナップに加わります。

「秋田こまち17」については、幅広い市場参加者のご活用による流動性向上を目指し、取引単位・受渡単位を17俵(17倍)とした、いわば「秋田こまち」のミニ版になります。

また、「新潟コシ」「秋田こまち」に続く第3の特定産地品種銘柄として宮城県産ひとめぼれをラインナップに加えるにあたりましては、「秋田こまち17」と同様、小は大を兼ねるとの観点から、取引単位・受渡単位を18俵(18倍)とした「宮城ひとめ18」として提供させていただきます。

新型コロナウイルスの感染拡大といった逆風下でのスタートとなりますが、むしろ先物価格がそこにあることで、適正価格の指標として様々な局面でお役に立てるものと信じ、市場機能の向上に一層努めてまいりますので、市場関係者の皆様におかれましては、引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年4月16日  
大阪堂島商品取引所  
理事長 岡本 安明